



広島なぎさ中学校

〔所在地〕 広島市佐伯区海老山南2-2-1
 〔TEL〕 (082) 921-2137
 〔校長名〕 永尾 和子
 〔ホームページ〕 <http://www.nagisa.ed.jp>

平成31年度 生徒募集要項

- **募集人員** 約200名(男女、なぎさ公園小学校からの内部進学者を含む)
- **試験日・試験科目**
1月23日(水) 国語・算数・理科・社会
その後に専願出願者はアンケート・作文
(点数化はされない)
- **試験科目・配点**
国語 55分 100点
算数 45分 100点
理科 45分 100点
社会 45分 100点
合計 190分 400点
- **合否判定**
学力検査 極めて重視
- **合格発表**
1月25日(金)の12時頃に、本校ホームページで合格発表。また同日10時までに、合否にかかわらず本人宛に速達郵便にて投函。在学小学校長にも郵便で通知。

学校情報

広島県屈指の男女共学の進学校としてのイメージが定着し、他校に先駆けて教育改革に取り組む、最もその改革に成功した学校の一つだ。

同校は佐伯区の五日市港東側に校舎を持つ。東西南北の4棟を空中廊下で結び、東側には広大な人工芝のグラウンドや教材池もある。創造意欲や学習意欲をかきたてる学びの空間は一般教室以外に各教科の先生の拠点となる教科ごとの部屋や一学年が収容できるシアター形式の教室は、小さなコンサートなどもできる。常に新しいカタチの学びを展開するにふさわしい。

今年度から就任した永尾新校長は、鶴学園の建学の精神「教育は愛なり」、教育方針「常に神と共に歩み、社会に奉仕する」をもとに、これからの時代に求められる、「自ら学び、成長する姿勢を育む」教育を推し進めていく。その中で「21世紀型高学力の養成」「国際性の涵養」「創造性の錬磨」「人間力の育成」という4つの教育目標を掲げる。人工知能が発達し、グローバル化が進む社会において、これまでのような受験対応型・注入方式といわれる知識の詰め込みの教育から脱却。ひとりひとりの生徒たちを見つめながら、生徒たちの知識欲や創造意欲を刺激することによって豊かな感性と人間力を培うことを通して、先に記した教育方針「常に神と共に歩み、社会に奉仕する」社会有為の人材を育て続ける。この確固たる方針を、中高一貫の6年間で綿密に練られた「広島なぎさオリジナル」のプログラムの下で実践するところに、この学校の群を抜いた教育の質の高さがうかがえる。

「21世紀型高学力の養成」を例にとると、単に知識を記憶するこれまでの教育に代わり、学びの感性(知的好奇心)や自ら問いかけ探求する姿勢(探究心と字学力)を育て、学びをもとに表現する力(創造・表現意欲)を生む教育を展開していく。その中身は授業や行事における感想文・レポート・発表・プレゼンテーションなど、日ごろから自分から発信する力を育てるのである。またいち早くipadを活用した授業を取り入れたり、平成28年度からは国際基督教大学(ICU)との高大連携もスタートさせるなど、生徒が「自ら学ぶ」「自ら創る」姿勢をしっかりとサポートしている。このような新しい時代を見据えた資質を育む教育が、この学校は「ホンモノ」であるという風格を醸し出していると言っても過言ではなからう。

(学習共同体グループ：河浜)

平成30年度 入試結果

入試結果

〔一般入試〕

- 受験者数 519名
- 合格者数 443名
- 入学者数 199名

系列高校

広島なぎさ高校

原則として進学できる。

テスト結果

● 受験者平均点

国語	63.2点(100点満点)
算数	45.9点(〃)
理科	50.4点(〃)
社会	65.0点(〃)
合計	221.1点(400点満点)

● 合格者最低点 189点(400点満点)